

3月11日  
午後2時46分

# 東日本大震災発生

## 土浦も大きく揺れました

東北地方太平洋沖地震は、観測史上最大規模のマグニチュード9.0、土浦市でも震度6弱を記録し、その影響は強い余震や福島第1原子力発電所の問題など、今なお、私たちの生活に影響を与えています。



震災発生時に止まった時計



亀城公園東櫓



倒壊した塀。墓石、灯籠なども倒れた。  
(六中地区)



強い揺れを受け、多くの家屋で瓦が落下したり、屋根の一部が損壊するなどした。(まちかど蔵)

**多大な被害が発生**  
この強い地震で、水道をはじめとするライフラインや建物、道路などに多大な被害が発生しました。  
ライフラインは、電気が3月12日の夜半までに、水道は土浦地区が15日、新治地区は18日に、都市ガスは24日に全面復旧しました。しかし、現在も市内には、液状化した道路などその傷跡が残っています。市は、これからも完全復旧に向けて、全力で取り組めます。



液状化した歩道。左の車道の高さと比較すると、どれだけ陥没したのかが分かる。(新治地区)



棚から落ちた本で通路が埋まってしまった。  
(市立図書館)



臨時ごみ置き場には、地震により壊れた瓦やブロック塀などが積み上がった。  
(武道館)



水道管の損傷などにより、市内全域で断水。12日から開設された8か所の給水所には、長蛇の列ができた。また、井戸を持つ方は、その水を近所の方へも提供するなど、地域が丸となって苦境を乗り越えた。  
(左:第一中学校、下:三中地区)



震災当日の3月11日は、2000人を超える方が避難所となった21か所の学校体育館で夜を明かした。  
(荒川沖小学校)

また、市内外の多くの個人・企業などからも、水、食料品などの物資や寄付金をいただきました。

また、市内外の多くの個人・企業などからも、水、食料品などの物資や寄付金をいただきました。

## 多くのイベントが中止に

震災の影響を受けて、桜まつりやかすみがうらマラソン大会など、多くのイベントが中止、自粛されました。

姉妹都市パロアルト市(アメリカ合衆国)との中学生交換交流事業もその一つですが、同市からは励ましのメッセージカードと土浦市復興への援助にと寄付金をいただきました。



パロアルト市から届いたメッセージカード



市は、震災直後から市内全域の早期復旧に努めています。道路工事など、ご迷惑をおかけすることもあります。ご協力をお願いします。(右:震災直後の栄利橋、左:4月20日現在の栄利橋)



避難者のプライバシー保護のため、ダンボールで間仕切りを作るなど、生活環境にも配慮をした。

## 福島県からの避難者受け入れ

東日本大震災に伴う福島第一原発の事故などで、福島県から多くの方が土浦市に避難してきました。



避難者の支援に、延べ1778人ものボランティアが参加。救援物資の受け渡しなどを行った。



避難所には、市内外の個人・企業などから多くの救援物資が届いた。

避難所となった水郷体育館では、ピーク時459人の方が生活し、市内外からの多くのボランティアの方に、援助活動のご協力をいただきました。(水郷体育館避難所は4月10日に閉鎖)

## 東日本大震災で、他市町村から土浦市に避難されている方へ

総務省では、各種通知や情報提供を行うため、避難されている方の現在の住所などの情報を求めています。

市内に避難されている方は、**市**

**総務課危機管理室**(☎8266・11

11 内線2292)にご連絡ください。

さい。